

西原小だより

学校だより

2月号

在籍児童数

2月1日現在

1年 37名

2年 37名

3年 29名

4年 38名

5年 29名

6年 36名

つばさ学級 6名

合計 212名

穏やかな日常づくり

校長 山崎 祐一

ここ数年の世の中の急激な変化や溢れる知識や情報は、私たちの日常生活に大きな不安や戸惑いを生んできました。

誰もが新たな知識や情報を求め、資格や学歴や財産を得て、不安や戸惑いを解消しようとしています。時には政治や経済に不

平不満をぶつけ、また他者に責任を転嫁する事で心を保とうとする事もありま

す。しかし日々の不安や戸惑いが完全に解消する事はありません。何が正しいかが分からず、常に不安や戸惑いや

悩みが尽きないのが今の世の中です。

私たちは生きていく上で確信（真理）を得たいと願っています。どんなに世の中が変化しても心が穏やかな日常を求

めています。今日まで私たちは知識や情報や政治や経済や学歴や財産などが人

生を守ってくれるものと信じてきました。しかしコロナ禍を経て穏やかな日常

とは他者や仕組みや制度が与えてくれるものではなく、自分自身の『生き方』

や自分の基盤を作る『家族』の在り方が極めて重要であり、私たちは改めてその

価値に気づき始めたと感じています。

『生き方』『家族』が穏やかな日常を創るキーワードだと確信しています。いつも人を批判し不満を言う人がいます。不平不満を他者にぶつけて一時心が晴れても、その生き方がどれだけ家族や自分の人生を傷つけているか残念ながら気づいていません。不思議と子どもはその家族の言動に似てきます。日々人間関係のトラブルを生み、自然と悩み事が多くなります。

「お子さんはとても良い子ですね。穏やかで優しく誰からも可愛がられますよ。お母さんが良いからです・」

ある会議の前に保護者に伝えた言葉です。長年の経験から子どもを見れば

ご家庭の様子や親子関係がわかりま

す。子どもは親の写し鏡です。子ども

の不安定な言動は子どもに問題があるのではなく、夫婦間や家族関係、親

として子どもの手本となる生き方ができない事から生じます。親は誰でも

我が子に愛をかけて期待します。しかしどんなに子どもに愛や期待をかけても、その向きが核心からずれていた

のではなかなか成果は得られません。これが子育てで悩む一番の原因です。

学校で勉強や運動に意欲的に取り組むお子さんの家族は問題を家族全員

で解決しようとしています。家族を責めた

り無視したりせず、調和のとれた温かい雰囲気包まれています。不思議ですが、そうした家族の悩みや問題は解決する時間も短く結果が必ず吉と返ります。

家族は「立ち木」によく例えられます。祖父母は「土」父親は「根」母親は「幹」

子どもは「枝葉」です。土は栄養をたっぷり含んで木の成長を支え、根は栄養を

幹に送り、幹は栄養を枝葉の隅々まで送ります。良い土が無ければ良い木は育ち

ません。根から幹へのパイプが詰まっていれば枝葉は枯れてしまいます。土、根、

幹、枝葉が「一本の線」で繋がっており、それぞれが自分の役割を果たすところに立ち木は生き生きと大きく育つのです。

昭和の時代、「夫は外で仕事。妻は家で家事・子育て」が常識でした。今でも

昭和の匂いがある家庭もある様です。夫が子育てに全く係らない家庭や子育て

の責任は人任せで口論が絶えない家庭の話も聞いています。また子どもの前で

人の悪口を言い、きまりや常識を守らない家庭もある様です。大切な事は子ども

に恥じない生き方をしようとするかどうかです。子育てや日常生活では必ず問

題や悩みは生じます。そうした問題や悩みの原因が自らの日々の言動にもある

と思えた時、穏やかな日常は自然とやってくる

★学校運営協議会知っていますか？

P T A組織と共に本校を支える組織が学校運営協議会です。開設5年目を迎えています。地域・保護者・学校職員から構成され、P T A組織と同様に本校を力強く日々支えてくれています。

○今年度の委員（敬称略）

（会長） 田中健一（前P T A会長）

（会員） 二瓶千香子（コーディネーター）

水野 猛（元学校評議員）

大島次雄（交通安全リーダー）

岩村英輔（地域ボランティア）

高村晋太郎（同）

熊倉奈々（元保護者）

三谷直子（同）

須永美由紀（学童指導者）

藤井沙紀（保護者）

柄田 毅（文京学院大学）

斎藤隆之（ふじみ野市役所）

※校長・教頭・教務主任が加わります。

○今年度の主な活動

・校長の学校経営方針への助言・承認

・様々な教育活動への助言・提言・要望

・花火大会の企画・運営・統括

・百葉箱の新設

・廊下等の汚れ落とし

・地域（町会）との連携・協力

○今後の方向性

一人でも多くの皆さんに学校運営協議会の存在・活動・趣旨を理解していただき、子どもたちに豊かな体験活動を創造し子どもに係る課題解決を図りながら地域と共に歩む学校づくりの一翼を担う。

★市内書き初め展

(3年)	樋田 悠希さん (特選)
	原田真優里さん (特選)
	西川 千尋さん (特選)
	小野 佑真さん (特選)
(4年)	高野 美海さん (優良)
	横田 桃子さん (特選)
	高田 龍正さん (特選)
	笠井 星良さん (優良)
(5年)	福田 樹さん (優良)
	片山 陽さん (特選)
	山田 童夢さん (特選)
	佐藤ななみさん (優良)
(6年)	宮内 蒼さん (優良)
	岩渕 悠太さん (特選)
	深津 紗良さん (特選)
	宮城 咲愛さん (特選)
	河野 花凜さん (優良)
	細田 夢晟さん (優良)

★校内書き初め展

1月23日(月)から27日(金)までの5日間、校内書き初め展を開催しました。コロナウィルス感染拡大はまだ予断を許しませんが、保護者の皆さんに来校していただき、子どもたちの力作をご覧いただきました。

★校内競書会

1月11日(水)3年生から6年生まで全員が体育館にて校内書初め会を行いました。100人以上が一斉に筆を走らせる姿は、体育館の中にすがすがしい空気を漂わせていました。

★合同学校保健委員会

1月24日(火)大井西中学校区三校合同学校保健委員会がコロナウィルス感染防止策を講じながら本校で実施されました。今回は保護者や薬剤師の松尾勝一先生の参加もあり、盛況のうちに実施となりました。当日は三角小の学校医である山口智広先生と本校栄養教諭の小峯諭先生による講話が行われました。2人のお話を真剣に聞き入る参加者の皆様でした。

★「インスタントラーメン小学生レシピコンクール」

6年生全員が夏休みに家庭科の一環として取り組んだ日本即席食品工業会主催の「インスタントラーメン小学生レシピコンクール」において、学校全体での意欲的な取組が評価され、2年連続学校賞を頂きました。担当した村田先生そして6年生の皆さん、本当におめでとうございました。

★5年生わらじづくり

1月18日(水)の午前中を活用して地域にお住いの平野次作様を講師にお招きして、5年生はわらじづくり体験を行いました。事前に担任の矢口先生は平野様のところに伺い、わらじづくりの体験や指導を受けてきました。5年生たちは初めてのわらじづくりに戸惑いながらも、平野様のご指導の下に笑顔が溢れたわらじづくりを体験しました。

★始業式の発表

1月10日(火)3学期始業式を全校が体育館に集合して開催しました。5年1組の稲垣歩夢くんが児童を代表して発表してくれました。3学期への決意が感じられた素敵な発表でした。

★避難訓練

1月17日(火)東入間警察署の藤田喜隆様をお招きして不審者対応に係る避難訓練を実施しました。正門から不審者が侵入したと想定して男性職員が「さすまた」を持ち、放送の合図で全校児童が体育館へ避難しました。躊躇なく110番をする事や来校者の名札着用の大切さを学びました。

★筑波大学の藤垣先生来校

1月19・27日、筑波大学の藤垣結髪先生が本校を調査に訪れました。本校の教育活動の様子や先生方の働き方の様子や子どもたちの活躍する姿をご覧いただき、校長との話し合いも行われました。藤垣先生の研究内容を検証するために本校が選ばれた事が誇らしいです。

★対面活動の復活

日常を取り戻すため感染防止策を講じながら始業式や児童集会等が体育館で全校児童を集めた形で行われました。

★2月の学校等の予定

1日(水)	新入学児童保護者説明会
2日(木)	委員会活動
3日(金)	幼保小連絡協議会・スクールカウンセラー来校
4日(土)	市内書き初め展
6日(月)	読み聞かせ
7日(火)	体育朝会
8日(水)	さわやか相談員来校
9日(木)	クラブ活動
10日(金)	通学班班長会議(西中新入生保護者会)・登校指導
14日(火)	音楽朝会
15日(水)	西原タイム・卒業準備委員会
17日(金)	学校運営協議会
20日(月)	授業参観懇談会(56年)
21日(火)	授業参観懇談会(34年・つばさ学級)
22日(水)	授業参観懇談会(12年)ともしび号来校・さわやか相談員来校
24日(金)	西中新入生ガイダンス
27日(月)	通学班編成・一斉下校
28日(火)	お話朝会

※文京学院大生の佐藤夏帆さんが2月より週2回(月・火)ボランティアとして本校を支えてくれます。

※引き続きコロナ感染対策及びお子様の体調管理の徹底をお願い致します。感染状況や子どもたちの体調等の理由で変更・中止する場合もあります。ご理解ご協力をお願い致します。

